

## 本地区における児童生徒の体力・運動習慣等の実態（概要版）

### 1 令和4年度の本地区と県のTスコアによる比較

種目 学年	握力		上体起こし		長座体前屈		反復横とび		20mシャトルラン		50m走		立ち幅とび		ボール投げ	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小2	◎	◎	△	△	○	△	◎	◎	◎	◎	○	△	○	○	○	△
小4	○	◎	△	○	◎	△	○	◎	◎	◎	△	◎	○	◎	◎	○
小5	◎	◎	△	▲	◎	△	○	▲	◎	○	○	△	◎	○	◎	△
小6	◎	◎	○	△	◎	△	○	◎	◎	◎	△	△	○	○	○	◎
中1	○	○	○	○	○	△	△	○	△	○	△	○	○	○	○	◎
中2	△	○	△	△	△	△	△	◎	△	△	△	○	△	◎	○	◎

【Tスコア】 ◎52以上    ○50以上52未満    △50未満48以上    ▲48未満

※ Tスコアは集団の平均値を50とします。◎, ○は県平均を上回っている種目です。

全体的に見ると、66.7%の種目が県平均を上回っています（小学校71.9%、中学校56.3%）。種目別に見ると、全体では握力が高く、上体起こしに課題があります。小学校においては握力・20mシャトルランが高く、上体起こし・50m走に課題があります。中学校においてはボール投げが高く、長座体前屈・20mシャトルランに課題があります。

各学校では、個人の体力課題を明確にし、体力を高める必要性を認識させるとともに、具体的な個人目標をもたせることが必要です。また、複数回の調査（種目別）を実施し、形成的評価を行うなど、児童生徒に記録の伸びを実感させることが重要です。

### 2 令和4年度本地区児童生徒の体育の授業に対する意識

意 識 校 種 等	楽しい		やや楽しい		あまり楽しくない		楽しくない	
	地区	県	地区	県	地区	県	地区	県
小学男子	69.7	71.3	23.6	21.9	4.7	4.7	2.0	2.0
小学女子	60.0	63.7	32.3	28.2	7.1	6.5	0.6	1.6
中学男子	56.6	53.1	34.9	35.2	6.9	7.4	1.6	4.3
中学女子	44.8	43.9	45.8	43.3	7.3	9.6	2.1	3.2

全ての児童生徒が充実感や達成感を味わうことのできる学習にするために、「学習課題の設定」、「課題に対するまとめ」、「学習の振り返り」を確実に行いましょう。また、仲間と協力して学習に取り組ませる中で、運動の楽しさを味わうことのできる場を保障しましょう。

さらに、児童生徒が運動に取り組みやすくするために、発達段階や技能の程度に応じて、学習する場や教材・教具等の工夫・改善に努めましょう。球技等においては、ルールやプレーする人数、ネットの高さなどの改善を図りましょう。